

準備工

作業開始
規制内清掃、
矢板間引き

規制テーパー部
撤去

チェーン規制解
除

後片付け

内 容	留 意 事 項
作業打合わせ(KY活動の実施) 作業分担、方法及び手順の確認 作業人員の確認 使用規制機材の点検 保護具の確認 本部との連絡体制確立 一般車両への注意喚起	・リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施 ・緊急退避場所の確認を事前に行う。 ・作業に必要な作業スペースの確保、作業区間の確認。 ・作業分担・配置、合図者・運転者、選任の確認。 ・AVライトなど不具合等がないか確認。 ・保護具、反射ベスト等確認。 ・本部との電話連絡が常できる状態をとる。 ・規制解除開始時間の確認。 ・1名は一般車に発炎筒・黄旗で注意喚起を行う。 ・合図は明確にわかりやすい動作でゆっくり行う。
規制内の清掃 矢印板の間引き	・規制内のごみ等の撤去、清掃を行う。 ・通行車両に注意し、3名で矢印板を間引く。 ・矢印板の間引き時には残された矢印板の向きや、着雪等で一般車両から見えにくい状況になっていないか注意する。 ・1名は梯団車両確認として保安作業。
規制テーパー部撤去	・追上げ車が現地到着時点で残りの規制矢印板の撤去行う。 ・3名はテーパー部矢印板撤去、AVライトの撤去可搬式標識車の撤去を行う。 ・トラック積込は荷台に人が乗って移動しない ・トラック積込は共用斜線側では行わない
チェーン規制解除 本部へ連絡	・車両との接触事故がないよう、速やかに退避する。 ・作業人員の安全の確認をし、作業終了報告をする。
終礼の実施	・リスクアセスメントにより実施

注意事項

- ・規制作業員は常に避難場所を確認すること。
- ・本部との連絡不通がないようにすること。
- ・不明な点は必ず本部と打ち合わせすること
- ・慌てず慎重に作業すること
- ・本部連絡員は規制員と梯団との連絡を確実に行う
- ・梯団出発後、作業が間に合わない場合は梯団をスルーさせ再度やり直すこと

・1人作業の禁止

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること

安全器具・保護具確認

ヘルメット・安全チョッキ・手袋